## 愛知県被災者支援センターニュース 第95号 平成30年5月25日発行

# あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター

住所:名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎1階

TEL: 052-954-6722 FAX: 052-954-6993

開館:月曜~金曜 10時~17時 回線





タイトル 「みそ造り」

◀岡崎市 A.M

▼岡崎市 W.M

この絵は3月に、濱田農園に参加している皆さんで、みそ造りをした様子です。参加者のお子さん兄妹が描いてくれました。みその原料となる大豆は、濱田農園で育てました。

濱田農園の取り組みについては、3 ページに紹介していますので、ご覧く ださい。



## 《表紙の絵/作品/写真 募集中!》

①絵/作品/写真のタイトル、②簡単な説明、③掲載する氏名またはペンネーム、年齢、 ④連絡先(氏名、メールアドレスまたは電話 番号)を明記のうえ、メールまたは郵送にて お送りください。

●E-mail: aozora@aichi-shien.net

## ≪もくじ≫

夜ノ森桜お花見交流会・・・・2
めぐりあい交流花見会 2018・・・・2
濱田農園・農業愛好者の会(仮称)・・・3
6月イベント情報・・・・・・4
あおぞらカフェ・・・・・・4
被災地/県外避難 情報ひろば・・・・4



## 夜ノ森桜お花見交流

よのもり

コープふくしまを通じて全国 17 か所に夜ノ森 桜が植樹され、そのうちの一本が豊橋市の豊橋生 協会館の一角で育っています。3月 31日、あた たかな陽ざしの中、2輪だけ蕾を付けた桜の樹を 囲んで、お花見交流会が開催されました。参加者 の K.I さんにお話しを伺いました。

#### ――夜ノ森桜とはどんな存在ですか?

富岡町出身の私にとって、夜ノ森桜はすべての 思い出に登場するの。小学生時代の夏休み、生い 茂る桜の葉が作る木陰に子どもたちが集まって、 上級生も下級生も一緒に、宿題を教えあったり、 遊んだりしたもの。道の両側から大きく枝を伸ば した樹々が、秋に穏やかに紅葉し、冬に葉を落と す…。私たちの暮らしは、いつも桜の樹とともに あったわね。もちろん、春、頭上で咲き誇る桜の トンネルは、私たちの誇りでしたよ。昨年避難解 除で一部は立ち入れるようになったけれど、私の 家がある辺り、2km続く桜並木を思い出に浸りな がら歩くことは、いつ叶うんでしょうね。

## ――交流会に参加していかがでしたか?

愛知に来てから 7 年。桜の名所と言われる所には何か所も足を運んでみたけれど、どの桜も、私の思い出の中にある桜とは違っていたの。交流会では、コープあいちの皆さんが、夜ノ森桜の写真や映像を見せてくれて。大ぶりな桜花の房が、枝をたわませる程ぎっしりと付いて、幹は両手で抱えるのがやっと…という堂々とした樹々。「そうそう、これこそ私たちの桜。」懐かしく、切なく眺めましたね。交流会の主役、まだ私の背丈にも届かない苗木は、震災を風化させないために1500本余りの夜ノ森桜並木を離れ、豊橋の地に定植されました。愛知に定住することを決めた私にとって、この樹は富岡の思い出を語り合える同郷の仲間のような気がしています。

(インタビュアー あおぞら編集委員 菊池)

## めぐりあい交流花見会 2018

東日本大震災から丸 7 年が過ぎました。私自身も名古屋に引越しして6年が過ぎ、生活・健康等の不安や悩みは多少あるものの家族みんな安定した生活が送れているのではないかと思います。

震災・原発事故による県外避難者自主グループ めぐりあいの会では毎年恒例となっているお花 見会交流会が4月1日(日)に実施されました。 今年の会場は、宮司さんが名古屋錦ロータリーク ラブの会員となられた愛知縣護國神社でした。お 天気にも恵まれ満開の桜のもと、いつも応援して くださっている名古屋錦ロータリークラブの皆 様、東海岩手県人会の皆様とともに、楽しいひと ときを過ごしました。世帯数12、大人子ども合 わせて25名と、交流会が始まったころに比べて、 その数は半分ほどに減りましたが、同じ体験をし た同郷同士、近況を語り合い、久しぶりの再会に



【桜の下、 久しぶりの 再会で話し に花が咲く

話しがはずみました。めぐりあいのお花見会は、 最初は私が勤める名古屋キリスト教社会館の事業所のひとつ「発達センターあつた」で開かれていましたが、3年ほど前から、桜の名所といわれる場所でもっと満開の桜を満喫したい、そうした場所のほうが参加者も増えるのではと考え、一昨年は大高緑地公園、昨年は名古屋城と場所を変えて開催しています。名古屋老舗の仕出し弁当と運び込まれた焼きたての焼肉に舌鼓、おいしいお酒、お花見ならではの催しです。年に一度のお花見交流会ではありますが、避難者同士で交流できる場を今後も大事にしていきたいです。

(めぐりあいの会副代表 小林万希子(福島県郡山市出身))

## 濱田農園。農業愛好者の会(仮称)

## 

有機無農薬の野菜の苗植えや畝づくりなどを通して、食べ物や子育てのことなどを話しながら、自然の中で交流しませんか?

## 食べ物について考える

5月、野山・畑や田んぼは緑一色です。福島原発事故以来、特に避難者の皆さんは、農作物、水産物、加工品に至るまで食べ物に不安を抱く人が多いと思います。家族・特に子どもを守るために、食品選びや調理方法に努力や工夫をされているかと思います。そんな中、濱田農園では有機・無農薬で栽培し、安心でおいしい野菜を作っています。



▲初夏、トマトを収穫する親子

## 濱田さんの願い

農園主濱田さんは、専業農家ではなく高校の数学の先生ですが、空いた時間を野菜の苗から育てて世話をし、実った収穫物を避難者の皆さんに提供したいと汗を流されているのです。そして子どもたちや都会で暮らしている人たちに、季節を通して作物がどのように育つか、どんな工夫をすれば農薬を使わずに安全な野菜を育てられるか、一緒に体験を通して実った収穫物を手にする喜びを感じてほしいと願っておられます。また、チェルノブイリ原発事故の被災者を支援する活動も、長年応援されています。



▲木陰で日ごろの生活などを話す参加者たち

## 興味を持たれた方へ

「農作業に興味がある」「自然が好き」「食の安全や子育てなどの話をしたい」といった方のご参加を募ります。少しでも関心のある方は、お気軽に支援センターへお問い合わせください。今後の予定は、問い合わせされた方に対して、都度ご案内します。

濱田農園:知多郡東浦町緒川市右原(番地なし) 知多半島道路東浦知多インター近く ※最寄駅からは離れていますので、 自家用車でお越しください。

#### ▼今年度の予定(収穫は適宜)

時期	苗植え・種まき
5月~6月	トマト、ナス、ピーマン、カボチャ、 大豆、サツマイモ、スイカ
10月頃	キャベツ、レタス、白菜、 ブロッコリー
11月~12月	玉ねぎ、スナップエンドウ
3月頃	じゃがいも



外で遊ぶ機会の減る梅雨時、お出かけしてみてはいかが でしょうか?ご参加のほど、お待ちしております。

開催日	イベント名	内容(主催)	最寄駅
3日(日)	甲状腺エコー検診&交流相談会	甲状腺エコー検診、よろず相談など(愛知県民主医療機関連合会・愛知県被災者支援センター)	名鉄常滑線 「道徳」
24 日(日)	ふれあいひろば小牧	名古屋めし、バルーンアート (ふ れあいひろば小牧実行委員会)	名鉄小牧線 「小牧」

※イベントの一部を掲載しています。その他のイベントや申込先などの詳細は、同封(前月号に同封している場合もあります)のチラシをご覧ください。

## あおぞらカフェ

被災者支援センターの中に、避難者の皆さんの活動のチラシを置いて情報交換ができたり、ほっと一息つけるコーナーとして、『あおぞらカフェ』を設けました。これまでも「近くまで来たのでちょっと寄ってみました」とセンターを訪ねてくださる方もいらっしゃいます。交流会のように避難者同士がお顔を合わせたり、仲間同士の打合せの場として利用してください。センターにとっても日常的に皆さんのお声がより届きやすくなる場になれば、と願っています。ぜひ『あおぞらカフェ』をご活用ください。

**問合せ先・場所** メールフォーム**⇒** 

●住所:〒460-000 | 名古屋市中区三の丸 3-2- | 愛知県東大手庁舎 | 階



被災地/ 県外避難 情報ひろば

- \*4月23日に福島県ふたば医療センター附属病院(富岡町)が開院しました。
- \*6月に宮城県営住宅、石巻市営住宅、仙台市営住宅などの申込み受付がされます。

※詳細は、関係自治体等のホームページをご覧ください。

編集後

・『災害復興研究 2017』で、「まるっと西日本代表」古部さんの文章に感動を受けました。「目の前に県外避難者が現れた時、ただその言葉を受け入れ、寄り添うだけでいいのです。それは悲しみを癒し、喪失を和らげ、避難先での避難生活を孤立させず、彼等に強いメッセージを送ることができるでしょう。そこにいていいのだと。その時私たちは、社会へもう一度歩き出す人々の復興を目の前で見ることが出来るはずです」と。(H.T)



・連休中の福島では、数年前と違って、田んぼが耕され水が入って美しかった。でも米は風評被害もあり、飼料用とか。また菜の花の黄色いじゅうたんも美しく、これは"エネルギー作物"として「菜の花プロジェクト」の農地再生への挑戦だ。(K.T)